

<消化器内科>

一般（教育）目標

一般的な消化器疾患について理解し適切に対応する。内科医としての見解を深め必要な技量を身につける。消化器疾患での長期入院では地域包括ケア病棟でのケアミックス医療による全身管理を経験し、日常生活に復帰するためのマネジメントを実践できるようにする。

（具体的）行動目標

(1) 基本姿勢

- ・主に消化管疾患について病態を把握し、初期対応ができるようになる

◇消化管悪性腫瘍

胃癌、食道癌、大腸癌

◇消化管出血

胃・十二指腸潰瘍、Mallory-Weiss 症候群、大腸憩室出血、直腸潰瘍など

◇炎症性腸疾患

潰瘍性大腸炎、Crohn 病

◇その他の消化管疾患

イレウス、大腸憩室炎、感染性腸炎など

(2) 診察・検査・手技

- ・病態把握のために必要な病歴聴取、身体所見をとることができる
- ・鑑別診断を行うことができる
- ・診断につなげるための検査計画を立てることができる
- ・検査データが解釈できる。
- ・X線診断・内視鏡診断を行うことができる
- ・検査の選択、鑑別方法、治療の選択、患者さんへの説明ができる

(3) 症状への対応、治療

- ・全身管理を行うことができる
- ・治療について理解し、治療計画を立てることができる

学習方略（1）

- (1) 指導医・上級医の指導のもと、入院症例の診察を行う
- (2) 症例検討会で受け持ち症例のプレゼンテーションを行う
- (3) 受け持ち症例の検査・治療に積極的に携わる
- (4) 内視鏡診断カンファレンスに参加し、読影技術を高める

週間予定（例）※他に他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
午後	病棟業務	病棟業務	症例検討会	症例検討会	病棟業務

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること